

2022 年度国連ユースボランティア・プログラム募集要項

グローバル人材育成プログラム科目「長期海外実習」及び「海外実習課題研究」

【注意】新型コロナウイルス感染症等の状況により、募集後に派遣を取りやめることがあります

募集要項〔仮〕2022 年 1 月 13 日

2022 年 3 月 24 日更新

プログラム概要

国連ユースボランティアは、世界の平和と開発を支援するための国際機関である「国連ボランティア計画 (UNV: United Nations Volunteers)」との協定に参加する日本のコンソーシアム大学*が連携して、学生を開発途上国へボランティアとして派遣するプログラムです。派遣学生は、UNV のコーディネートにより、約 5 ヶ月間、主に開発途上国の国連諸機関に派遣されます。本プログラムは、日本政府の支援を受けた事業として実施され、派遣が決定した場合の現地生活費、住居費、往復渡航費等は UNV が支給します。

*関西学院大学、大阪大学、国際教養大学、筑波大学、東洋大学、明治学院大学、明治大学、立教大学の 8 大学

目的

開発途上国が抱える様々な問題を改善するため、UNV による多様なボランティア活動に従事することを通じて、国際社会や異文化理解に関する知識に加え、業務に従事するための外国語力、交渉力、積極性、柔軟性、問題解決能力など、グローバル人材に必要な素養を身につけることを目的とします。

派遣先国／派遣機関／分野

派遣先国は、アジア、アフリカ、欧州、大洋州の各国。派遣機関は、開発途上国における国連事務所や政府機関、NGO など、UNV にボランティア派遣要請をしている機関。ウェブサイトやポスター作成などの広報活動やプロジェクト運営支援などを通じて、教育、保健衛生、環境、ジェンダー、貧困削減などの活動に携わる。「業務指示書(Description of Assignment; 以下、DOA とする)」に基づき各機関のスタッフや現地の人々とともに活動に従事します。※派遣機関により活動の内容は異なります。

2022 年度派遣地(派遣機関) ※ 詳細は各派遣国の業務指示書(DOA)を参照

本学の「専用枠」派遣地(派遣機関)および「一般枠」(1 カ国・1 ポスト)の募集は以下の通りです。ホームページに公開している業務指示書(DOA)を参照して、応募をしてください。

【本学の専用枠】※明治大学の学生のみが推薦され、選考が行われます。

エジプト カイロ(UNDP(国連開発計画))【Junior Programme Analyst】

【一般枠】※募集枠が発生した場合のみ、コンソーシアム大学から推薦され、選考が行われます。

募集枠はありません。

※業務は英語環境で行うことが原則とされていますが、派遣国の公用語(簡単な日常会話程度)が話せることが望ましいです(業務が円滑に行えます)。

2022 年度派遣に係る予備登録について

本プログラムにおける派遣先希望の国・地域について把握するため、参加を希望する学生は、以下の期間に Oh-o!Meiji システムのアンケート「2022 年度国連ユースボランティア・プログラム予備登録について」から、2 月 9 日(水)までに予備登録を行ってください。※派遣先については、年度ごとに異なるため、登録した国・地域が、必ずしも派遣先として選べない場合もあります。

履修対象学年

2022 年度 2 年生以上の学部生 ※年齢による応募制限あり。

派遣期間

2022 年 9 月 ～ 2023 年 2 月の約 5 か月間

応募資格

1. 派遣年度の 9 月 1 日時点で 20 歳以上 26 歳未満であること。
2. 日本国籍を有すること。
3. 以下のいずれか一つの英語能力を満たすこと(受験日 2020 年 5 月以降)。
【TOEFL ITP(R) 500 点, TOEFL -iBT(R) 61 点, TOEIC(R) 630 点, IELTS 5.0 点】
4. 基本的な PC スキル(Word/Excel/PowerPoint)を有すること。
5. 開発途上国の厳しい異文化環境において生活する上で心身ともに健康上の問題がないこと及び困難な状況に対応できること。
6. 本プログラムの募集・選考及び実施に係る全てのスケジュールに参加ができること。
※事前研修及び講義に欠席をした場合、プログラムの参加を認めないことがあります。
7. 開発途上国へ 2 週間以上の渡航経験(留学・在住)を持つことが望ましい(選考の際に、渡航経験者が優先されます)。
8. ボランティア経験があることが望ましい。
9. 参加決定後、本学の外国留学に関する広報活動及び本プログラム継続に係る各種調査等の協力を卒業後も含めて協力の同意ができること。

※ **新型コロナウイルス感染症拡大に伴う本プログラムの留意事項は、下欄(新型コロナウイルス感染症に関するプログラム実施上の注意事項)を参照すること。**

履修条件

「長期海外実習」の学習効果を高めるため、派遣前に実務研修を行う「海外実習課題研究(国連ユースボランティア・プログラム)」を同時に履修しなければならない。本プログラムは休学での参加は認めません。

※成績の付与は2022年秋学期分として行われます。2022年秋学期にはこの他の科目の履修はできませんので、2022年度に卒業を考えている者は、自らの単位取得状況と2022年度中の履修計画を確認し、卒業の可能性を事前確認の上で申し込んでください。なお、参加決定後の派遣辞退は認められません。

単位の付与について

単位の付与(学部卒業要件に含めて履修又は卒業要件外科目として履修)については、各所属学部事務室に確認してください。

修得可能単位

「長期海外実習(8 単位)」+「海外実習課題研究(4 単位)」=合計 12 単位

募集人数

若干名（※学内推薦後、UNV 現地事務所の選考により、各ポスト1名の派遣者が決定されます。）

選考方法

まず、学内にて書類審査及び面接審査(英語)を実施の上、プログラムへの参加に適正であると判断されるものを派遣候補者として派遣候補国(ポスト)を決めた上で推薦します。最終的には、UNV 現地事務所担当者との書類審査及び電話インタビュー等を経て、日本から8機関(ポスト)へ8名が派遣が決定されます(※合否結果、選考内容に関する問い合わせには一切お答えできませんので、予めご了承ください)。

選考にあたっては、本学専用枠への応募者を優先して推薦します。今後、一般枠が発生した場合、原則として1名を選考の上、派遣候補者として推薦します。

※本学専用枠は、所定人数の学生推薦が行えなかった場合、連携大学の学生に対して募集が行われます。

※一般枠は、連携大学の参加状況により、募集が行われないことがあります。

※連携大学の専用枠に派遣者の決定がなされなかった場合、学内推薦が決まった者は、その空いた国(ポスト)への変更の希望が認められることがあります(各大学の応募状況によるため、必ず発生するものではありません)。

業務内容

持続可能な開発目標、通称「グローバル・ゴールズ」(※)達成に貢献するために以下のような活動を行います。

- Web サイト構築／運営
- 広報媒体作成
- 動画・画像編集
- 社会調査アシスタント
- プロジェクト運営アシスタント など



※<https://www.jp.undp.org/content/tokyo/ja/home/sustainable-development-goals.html>

参加費用

下記の①～⑤の費用は、「国連ボランティア計画」により支給されます。

- ① 往復渡航費
- ② 住居費
- ③ 現地生活費 ※現地の人と同等程度の生活を営むに足りる金額が支給されます。国ごとに定めた生活費が毎月現地銀行口座に入金されます。
- ④ 国連健康保険
- ⑤ 準備金(滞在ビザ申請料及び荷物配送費等の一部)

下記の⑥～⑩は、自己負担となります。

- ⑥ 渡航前国内研修費(3万5千円程度)※2022年8月上旬及び下旬に国内研修合宿実施予定
- ⑦ 渡航前国内研修の交通費・宿泊費・教材費(関東会場及び関西会場で実施予定)
- ⑧ 明治大学が指定する海外旅行保険
- ⑨ 派遣先国渡航にあたり、外務省海外安全情報により必須及び必須に準じると指定される予防接種の費用
※予防接種の種類は派遣される国により異なります。
- ⑩ その他、出入国のために必要な費用

応募方法(申込書について)

下記募集期間内に、指定の書類を各キャンパス窓口開室時間内に提出すること。

応募期間

2022年3月28日(月)～4月4日(月) ※締切日厳守

如何なる理由でも応募期日を過ぎての書類受付はいたしません。

■ 提出書類

「【長期海外実習】国連ユースボランティア・プログラム提出書類チェックリスト」を表紙にし、下記の順番に書類を揃えて提出すること(ホチキス止め不要)。

提出書類	備考
<input type="checkbox"/> 【長期海外実習】国連ユースボランティア・プログラム学内申請書	必要事項をすべて記入し、3か月以内に撮影され、裏面に氏名・学生番号が記入された証明写真(カラー,4cm x 3cm)を貼付すること。
<input type="checkbox"/> 【長期海外実習】国連ユースボランティア・プログラム志望動機書	それぞれの問いに対し、指定された単語以内で記述をすること。
<input type="checkbox"/> 成績通知表(2021年度秋学期の成績まで反映されたもの)	Oh-o!Meiji よりダウンロードしたもの。 A4サイズに印刷すること。
<input type="checkbox"/> 英語能力試験のスコアコピー	2020年5月以降に受験したもののみ有効。 応募資格に記載のスコアを有していること。
<input type="checkbox"/> 【長期海外実習】国連ユースボランティア・プログラム参加申込誓約書(提出用)	本人及び保証人による署名・捺印がされていること。

■ 提出場所

下記いずれかのキャンパス窓口開室時間内(HP等で確認してください)に提出してください。

駿河台キャンパス：国際教育事務室(グローバルフロント2階)

和泉キャンパス：国際教育事務室(海外留学)(第一校舎1階)

中野キャンパス：中野教育研究支援事務室(低層棟3階)

生田キャンパス：国際教育事務室(中央校舎1階)

■ 問合せ先

明治大学国際教育センター(国連ユースボランティア・プログラム担当)

kokusaik@meiji.ac.jp

応募から帰国までのスケジュール(予定)	
2022年1月13日(木)	募集要項[仮]公開・予備登録受付開始
1月13日(木)・17日(月)	募集説明会実施
2月9日(水)	仮登録締切日
3月下旬	募集要項[確定版]公開 2022年度派遣先・業務指示書(DOA)公開
3月28日(月)～4月4日(月)	学内申請書類提出期間【締切:4月4日(月)】
4月8日(金)	学内書類選考 通過者発表
4月13日(水)15:00～ (※和泉キャンパスで実施予定)	学内面接選考 実施 英語による面接審査を行う。原則、和泉キャンパスにて対面で行う。(詳細は書類選考結果発表時に通知する)
4月下旬	派遣候補者発表・志望 DOA 最終決定
4月下旬	英文履歴書(CV), 参加動機等提出締切日 詳細は候補者に別途通知する。
5月上旬	UNV ロスター・システム(My Profile)登録
5月中旬～	UNV による選考 UNV 本部及び現地事務所採用担当者による書類選考及び電話インタビューを行う。※派遣国(ポスト)によって選考方法が異なる。
6月上旬	UNV による採用結果通知 各候補者は合否結果を明治大学担当者に必ず報告すること。
7月上旬	渡航準備開始
7月中旬・9月上旬	事前学習「海外実習課題研究」(100分×全2回) ※本学からの派遣決定者のみ対象。
8月中 (※東京5日間, 関西学院大学5日間 予定)	派遣前国内研修 (10日間) ※連携校からの派遣予定者全員が対象。 国連概論, PC スキル(Web, 画像, 動画編集), 教育開発論, 国際紛争論, 災害復興論等の講義
9月下旬	渡航
2023年2月下旬	帰国
2月下旬～3月上旬	事後学習(学内報告会)「海外実習課題研究」 ※本学からの派遣決定者のみ対象。
3月中旬(予定)	帰国報告会(UNV 連携校合同活動報告会)

留意事項

- 本プログラム参加については事前に保護者とよく相談し、同意を得てから応募してください。学内推薦が決定した後、辞退は認められませんので、プログラムの条件や詳細をよく確認の上、応募をお願いします。
- 本学からの推薦は、国連ユースボランティア・プログラムへの参加決定を保証するものではありません。
- 当プログラム募集・選考に関する連絡は、Oh-o!Meiji またはメールで行いますので、確認をしてください。

- 参加決定後、次年度の募集等に向けて、作成した英文履歴書及び選考時提出書類等について本学と共有及び活用することにご了承いただきます。
- 国際教育センター主催の各種オリエンテーション等での発表や明治大学が発行する出版物等へ留学体験記の寄稿にご協力いただきます。
- 応募にあたって提出していただいた個人情報、当プログラムの実施及びこれらに付随する事項を行うために利用し、また、当プログラムを実施する関係諸機関に対して、提出していただいた個人情報を提供することがあります。

新型コロナウイルス感染症に関するプログラム実施上の注意事項

- 新型コロナウイルス感染症等によるプログラム実施について
当プログラムは現地UNオフィスへの赴任を前提に募集を行いますが、新型コロナウイルス感染症等の影響により、プログラムの一部または全ての期間をオンラインで活動することになる可能性があります。なお、参加決定後、オンラインプログラムになったことを理由にプログラムの参加を辞退することは認めません。
なお、想定し得る実施形態は以下の通りです。
 - a. 現地赴任(渡航条件が任期開始～終了まで整っている場合)
 - b. オンライン+現地赴任(渡航条件が任期の途中で整った場合)
 - c. 現地赴任+オンライン(渡航条件が任期当初は整っていたが、任期の途中で悪化し帰国する場合)
 - d. オンライン+現地赴任+オンライン(上記 b と c の両方が起きた場合)
 - e. オンライン(結果的に、渡航条件が整わず任期を終える場合)
- 現地派遣の条件について
外務省海外安全情報の危険情報及び感染症危険情報レベルにおいて、派遣国の危険レベルが「レベル1」以下でなければ、原則、派遣は行いません。また、同レベルが「レベル2」に上がった場合には、原則、帰国をしてもらうことになります。
- オンラインでの活動について
オンラインでの活動については、その活動内容が明示され、業務遂行上の使用言語は「英語」であることが条件となります。また、オンラインでの活動であっても、派遣時と同様に生活費等の支給がなされます。逆にオンラインでの活動環境については参加者本人が確保することや現地オフィスとの時差の影響等については自ら解決する必要があります。
- 新型コロナウイルス感染症禍における派遣に係る費用負担について
新型コロナウイルス感染症等に伴う、出入国制限や検査費用等、参加にあたって発生する費用は、原則、全て自己負担となること、また、緊急帰国が必要となった場合の帰国費用についても自己負担が原則であることを了解した上で応募を行ってください。
- オンラインでの活動時における授業履修について
オンラインでの活動となった場合でも、派遣時と同様のミッションが課されることを前提としているため、当プログラムに係る授業以外、本学における授業履修は認められません。

以上

国際化サポート積立金スカラシップ

本スカラシップは「明治大学未来サポーター募金」により、本学の国際化を目的として積み立てられた寄付金(国際化サポート積立金)から支給されます。

採用人数

2022 年度国連ユースボランティア・プログラム参加者 若干名

応募方法

本プログラム応募の際の申請書「5. 国際化サポート積立金スカラシップ申請情報」欄に、スカラシップ応募の有無を記載してください。

助成金額

派遣国への渡航及び帰国時の出入国にあたり必要とされる検査費用、防疫隔離に係る費用等新型コロナウイルス感染症に対応して必要とされる費用の実費(30万円上限)※募集要項「参加費用⑩」参照

選考方法

本プログラム応募の際に提出された応募書類及び学内面接選考の結果に基づき、採用者を決定します。

受給条件

採用された学生は、「明治大学未来サポーター給費奨学生」として、報告書・感謝状等の作成や寄付者との懇談会が求められます。なお、以下のいずれかに該当する場合、スカラシップの給付決定が取消しとなり、給付金を返還してもらうことがあります。

1. 応募書類等に虚偽の記載があったとき。
2. 国連ユースボランティア・プログラムへの参加が取り消されたとき、またはプログラムを完了することができなかったとき。
3. 本プログラム応募資格、留意事項及び参加申込誓約書に記載されている事項を守ることができなかったとき。
4. その他スカラシップ給付対象者として適当でないと認められたとき。

採用の決定

2022 年度国連ユースボランティア・プログラム参加が決定した学生を対象に、記載の選考方法に基づき、採用を決定します。

採否の結果については、7月下旬頃に Oh-o!Meiji で通知し、採用者にはその後の手続きについても、その際に案内いたします。

■ 問い合わせ:

明治大学国際教育センター(国連ユースボランティア・プログラム担当)
kokuo@meiji.ac.jp

以上